



平成29年11月6日
海上保安庁

ジブチ沿岸警備隊への技術協力について ～海賊事案の根絶に向けて～

海上保安庁は、10月27日(金)～11月3日(金)の間、海上保安大学校准教授をはじめとする当庁職員3名を講師としてジブチ沿岸警備隊に派遣し、国際法をはじめ、海賊、密輸・密航に関する海上法執行についての研修を行いました。

海賊事案の根絶には、沿岸国の海上法執行能力の向上が不可欠です。海上保安庁では、独立行政法人国際協力機構(JICA)によるジブチ沿岸警備隊能力拡充プロジェクト※¹と連携し、平成25年から定期的に専門家をジブチ共和国に派遣し、技術協力を行っています。

今回は、海上法執行についての研修に加え、10月29日(日)には、ジブチ地域訓練センターにおいて、海洋安全保障セミナー※²が開催され、ジブチ共和国設備運輸大臣等が出席される中、当庁職員が海賊対策の現状等について発表を行いました。

ジブチ共和国はアデン湾と紅海を繋ぐ海上交通の要衝に位置しており、同国の海上保安能力の向上を支援することは、当該海域の治安が維持されるばかりでなく、我が国シーレーンの安全確保にも繋がります。今後とも、同沿岸警備隊が海賊事案をはじめとした様々な海上犯罪に的確に対応できるよう、積極的な支援を継続してまいります。

※1 ジブチ沿岸警備隊能力拡充プロジェクト

平成22年12月に設立されたジブチ沿岸警備隊に対し、必要な資機材や技術等を支援するため、平成25年にJICAによって開始されたプロジェクト。

【海上保安官の派遣実績】

- ・平成25年 9月 国際法等の講義のため3名派遣(第1回)
- ・平成26年 8月 鑑識技術、制圧術の指導のため5名派遣(第2回)
- ・平成27年 2月 鑑識技術、制圧術の指導のため5名派遣(第3回)
- ・平成27年10月 捜査技術、制圧術の指導のため5名派遣(第4回)
- ・平成28年 1月 捜査技術、制圧術の指導のため5名派遣(第5回)

※2 海洋安全保障セミナー

在ジブチ日・仏大使館共催にて実施。国際海事機関(IMO)を通じ、我が国が資金を拠出して建設したジブチ地域訓練センターを活用して開催。海上保安庁からの派遣者3名に加え、第28次ソマリア周辺海域派遣捜査隊(海上自衛隊の護衛艦に同乗しソマリア沖・アデン湾で活動中)からも参加。

1 日程

(1)ジブチ沿岸警備隊への研修

平成29年10月30日(月)～11月2日(木)の間

(2)在ジブチ日・仏大使館共催海洋安全保障セミナー

平成29年10月29日(日)

2 派遣国

ジブチ共和国



地図データ©2017Google

3 派遣者(3名)

海上保安大学校准教授1名

本庁警備救難部国際刑事課職員2名

4 派遣先での状況

